

# 浜松鷺長会報

Vol.166 2018. 06. 01

じゅうりおうん はくじつ くら とうだい わか  
十里黄雲 白日 曛し 「董大に別る」  
ほくふう かり ふいて ゆき ふんぶん こうせき  
北風 雁を吹いて 雪 紛紛 高適  
しゅう なか ぜんろ ちき な  
愁 うる莫れ 前路 知己の無きを  
てんかたれびと きみ し  
天下誰人か 君を 識らざらん 18p

H30年第一回鷺長会運営会議 日時 平成30年 5月19日 (土)

議事 午後 1時00分 開始 ～午後 2時50分 終了 場所 浜松アイミティ

- 鷺長会秋季練成会について H30/9/23 新居地域センター 担当支部 湖西支部  
6/23運営会議で 大会要綱を提出し募集を行う 7/28講師会前に抽選会を行う
- 地方昇格6/17(日)昇段昇格者注意事項 昇段試験4/28(土)終了  
鷺長会吟行 5月27日(日) 名古屋城他、名古屋市内観光 参加58名
- 総本部総会資料配布 代議員出席 6/2(土) 13時～  
総本部東明未来塾東海地区 三期生 受講生募集 各支部候補者 6/15締切  
開講日 7/7(土)、8/18(土)、10/6(土) 名古屋港湾会館  
吟詠推進事業浜松大会 H30/11/23(日) 名古屋北文化小劇場  
6/17昇格試験後打合せ予定  
総本部85周年記念大会の件 H31.2.17(金祝) 地区ごと演題・催しについて  
5/30 東海市芸術劇場下見とチーム85打合せ予定 構成吟 浜松2会で30分
- 東海地区行事予定 報告  
東海地区吟士権大会 8/5(日) 名古屋北文化小劇場 16名出吟
- 白鷺吟詠会行事について  
白鷺吟詠会総会 H30/5/12(土) pm5～ 海老江西コミュニティーセンター 済  
新役員 会長西村夕城・留任副会長 小井鶴伸・飯田報鷺・岡田岳遥  
新任副会長 森口雪孝・岩間鶴声・大鳥鷺照・酒井翔恵・中谷淞苑
- 県総連関係行事  
静岡県総連吟詠コンクール H30/5/20 清水ふれあいホール 結果2p別出  
県総連吟詠審査研修会 9/23(日) 清水ふれあいホール (鷺長会秋季練成会と同じ日)
- 浜吟連関大会 7/22(日) Uホール 今月中に出席者申し込み(各支部毎)  
浜吟大会出場者練習会 7/8(日) 7/15(日) アイミティ 9-12時  
浜松市民吟詠会参加者募集 8/5(日) 曳馬協働センター 午前中 市広報で募集
- 鷺長会 会員増員対策委員会の立ち上げ検討 総本部目標は会員数 12% 21人  
会員の勧誘について教室を増やす活動。 幼少年青年の会員を増やす活動。
- ポルトールコンクール 参加者申し込み募集 7/1(日) 浜松地域情報センター予約済  
吹き込み済みCDの購入促進の件内容確認 販売講習会への参加もしてください  
(吹込み者リストの配布 申し込み確認)
- その他

五月新入会員 ありませんでした。今後の増員活動を よろしくお願い致します

- ◆鷺長会開催予定 H30年 ☆和支部6/10 表鷺津多目的ホール  
☆指導者講習会 6/23(土) 13～16 アイミティ☆第二回運営会議 6/23(土) 10～12  
☆浜吟連練習 7/8(日)、7/15(日)9-12 アイミティ ☆秋季練成会 9/23(日) 新居地域センター  
☆鷺長会秋季練成会 9/23(日) 湖西市新居地域センター  
◇各会今後の予定 H30年  
☆東海地方昇格試験 6/17(日) 賀城園 (昇格試験終了後東海地区常任理事会を開催 )  
☆ポルトール吟詠会中部地区予選 7/1(日) 9～17 コンクールと研修会 浜松地域情報センター  
☆吟詠コンクール中部地区大会 7/16(月・祝) 岡崎せきれいホール (前日は剣詩舞コンクール)  
☆浜吟連吟詠大会 7/22(日) Uホール ☆浜松市民吟詠会 8/5(日) 曳馬協働センター  
☆吟士権東海地区予選 8/5(日) 名古屋市北文化小劇場  
☆翔鴻流静陵吟詠会45周年記念大会 8/19(日) 新居地域センター  
☆県総連吟詠研修会 9/23(日) 清水ふれあいホール ☆沼津吟詠会 25周年 10/21(日)  
☆浜松市民フェスティバル 10/21(日) Uホール

財団全国吟詠コンクール静岡県大会結果 H30年5月20日(日) 静岡市清水ふれあいホール  
 ☆出吟者 13名参加中3名が入賞・奨励賞2名でした。1名欠席  
 一般三部三位 紀野 実知子、入選 中瀬泰明、村瀬智恵子 (中部地区コンクール 3名出場。)  
 奨励賞 一般二部 星川晴美 (次点)、三部牧田修景  
 (来年はさらに多くの参加を目指してください。更に多く若い人の参加を期待しています。)

☆ ポリドール吟詠会 競吟大会の予選と研修会 開催予定 H30年7/1(日)  
 浜松地域情報センターホールにて行われます。実施要綱は連絡済 申込 理事長まで  
 参加者募集中 多くの競吟参加者と研修会聴講の方を募っております。  
 一般の方にも詩吟を知って貰うように 来て頂くように勧めて下さい  
 吟詠講習会では、いろいろなアドバイスそして上達のヒントが得られます。  
 吟詠上達のポイントを掴んで頂きたいと思えます。多くの皆様のご参加を待っております。

会員状況 (H30年4月1日現在) 会員数 総数 179名 (昨年 208名) 事務局  
 宗範 2名、総師範 15名、高師範 9名、上師範名 11名 師範 19名 準師範 18名 師範代 17名  
 合計 91名  
 10段 34名 9段 9名 8段 12名 7段 12名 6段 14名 5段 12名 4段 22名  
 3段 18名 2段 11名 初段 8名 無段 36名 合計 188名  
 81歳以上 40名 71~80歳 87名 61~70歳 40名 51~60歳 5名 21~50歳 7名  
 20歳未満 9名 6月2日 関吟総本部総会の時 公認会 2号の認定証が渡されます。  
 (会の活力は会員数です。会員増強が現在の大きな課題です、  
 幼少年の吟詠活動を盛んにしましょう。若い人達に吟を伝えてゆきましょう!!)



短歌一題 酔いどれ  
 うれしかや 悲しかろうか 海どりよ  
 せめて聞きたや 汝が胸の内  
な

細江分会小吟行報告-1 H30-5-2 (水)

今年は焼津・藤枝・島田・金谷の東海道沿いを廻って来ました。行きたい所は幾つかありましたが、藤枝は蓮花寺池公園へ花が目的でしたが藤はずでに終わり、皐月・紫陽花・蓮はこれからで丁度、端境期でした。大きな池の上に子供達の手作りの大きな鯉幟が沢山空を泳いでいました。また来て見たい所でした。次に訪ねたのが丸型のお濠で有名な田中城址。場内は学校に変わっていましたが周りの道筋に昔の面影が残っておりました。堅固な御城で攻めて来た敵は兵糧攻めにするため周りの田んぼの稲刈りをして帰ることを繰り返して城は落ちなかったとボランティアが 卜さんの話でした。此の城も浜松城と同じく出世城で、城主が出世して替わることが浜松城に次いで多かったことも聞きました。(続く) 166・2



藤枝・田中城の図面



会員漢詩六月

東韻

梅天閑詠 嶋野美佐子  
漠漠沈雲 濛濛鎖空  
小齋永晝 暗簾櫳  
讀書漸倦 聞簾櫳  
燕燕差池 咫尺中

漠漠たる沈雲 濛として空を鎖ざす  
小齋 永晝 簾櫳暗らし  
讀書 漸く倦みて 簾滴を聞く  
燕燕は差池たり咫尺の中

濛鎖空(濛として空を鎖ざす)

雨が空を鎖すの意  
差池 そろわないさま  
咫尺 非常に近い距離



藤枝 蓮花寺池公園 5/2

会員漢詩六月

庚韻

聽蛙 袴田哲郎  
梅霖 茅屋 夜三更  
相喚 群蛙 不借聲  
陰鬱 幽齋 眠未就  
殘書 机上 對書檠

梅霖 茅屋 夜三更  
相喚ぶ 群蛙 聲を惜しまず  
陰鬱たる幽齋 未だ眠り就らず  
殘書 机上 書檠に對す



名古屋城 天守閣と 本丸御殿 h 30-5-27

会員漢詩六月

尤韻

水村夏夜 後藤忍  
江風 爽氣 水邊の楼  
明滅 飛螢 六月の秋  
散盡 暑威 涼自足  
詩懷 呼酒 意悠々

江風 爽氣 水邊の楼  
明滅す 飛螢 六月の秋  
暑威 散じ尽して 涼自ら足る  
詩懷 酒を呼び 意悠々たり



名古屋 徳川園の池

会員漢詩六月

魚韻

初夏読書 花筏B  
清和 庭院 樹扶疎  
午榻 綠陰 心自舒  
漾漾 南薰 客訪  
茶經 一卷 又開書

清和 庭院 樹扶疎たり  
午榻 綠陰 心自から舒ぶ  
漾漾 南薰 客訪ふ無し  
茶經 一卷 又書を開く



大須観音参拝 若い人が多かった



名古屋城にてパフォーマンス  
チンドン屋



名古屋城つつじの展示会開催中



徳川美術館前で全員写真

**方広寺十聖境**

十景第五 貝葉谿 (ばいようけい)  
谿に一板橋架かる 以て前崖に通ず 崖上  
に四十餘尊者安んず 各四威儀の態 有り  
最も雅観を為す

是 当年 秦始皇の焚に非ず  
ひるがえ

翻 し来るは 葉葉 五天の文

無量の妙義 谿を情とつて 説く

祗だ要す 諸人の眼を以て聞かんを

貝葉 (経文) を模した一板橋を渡れば威儀

正しい羅漢尊者の聖域。

1 現在これは秦の時代の始めの様に書を  
焼くのでなく

2 ひらひらと舞い落ちて来る 木の葉は  
五天より来る経文の様である

3 計り知れない教えが谷間を美しく彩り  
ながら説いているのだ。

4 ただ必要なことは 多くの人が目で  
見乍ら 教えを聞くことだ

(情とつて 美しさ)

このような意味にとつて良いだろうか

**論語十二か月-10** 論語は色々有名な教えを残しておりますが。また論語より出た熟語が  
沢山あることも知りました。遠慮、敬遠、啓発、切磋琢磨 などがそれです。

子曰わく、中庸の徳たるや、其れ至れるかな。民鮮(少)なき事久し。(雍也第六)

先師が言われた。「中庸の徳というものは、完全で最高だ。しかし一般の人の間に行われ  
なくなつてからひさしいなあ」

子曰わく、黙して之を識し、学んで厭わず、人を誨えて倦まず。何か我に有らんや。

先師が言われた。「黙っていて心に深く知り、学んで飽くことが無く、人を教えて怠らな  
い。そのほかに私に何があるか」 述而第七

子貢曰く、徳の修まらざる、学の講ぜざる、義を聞きて従る能わざる、不善の改むる能  
わざる、これ吾憂いなり。述而第七

先師が言われた。「徳が身に付かないこと、学が究められないこと、正しい道を聞いても  
行うことが出来ないこと、悪い行いを改めることが出来ない事の四つが、常に私の心を  
いためるものである」

子曰わく、道に志し、徳に拠り、仁に依り、芸に遊ぶ。述而第七

先師が言われた。「人として正しい道に志し、これを実践する徳を本とし、仁の心から離  
れないようにする。そうして世の中に立つ上に重要な芸に我を忘れて熱中する」

吟行は近い所でしたが天気にも恵まれ、名古屋城が建て替えられる寸前、又とない機会に旅  
行が出来ました。この次は少し距離を延ばして、面白い場所を紹介して頂き、出かけた  
と思います。今回の吟行で、思い出に残る事ありましたらおしらせください。詩でも歌  
でも結構です。会報を通して皆様とつながりを深くしたいと思います。

(発行責任者) 公益社団法人関西吟詩文化協会 浜松鷺長会 会長 飯田報信 事務局長 森下報薫

広報委員 沢木洋伸、鈴木修榮 飯田報峽、金原修潜、小倉祥司、水野薫、 166-4